

心肺蘇生用の訓練モデルの必要条件
Requirements of a Training Model for Cardio Pulmonary Resuscitation
P. Lotz, R. Rossi, F. W. Ajnefeld,
Universitätsklinik für Anästhesiologie

心肺蘇生を成功させる最も重要な前提条件は、特に基本原則に従った広範囲で、能率的な訓練である。このための基本テクニックは、本来、習得できるまで順序正しく、実演され、実行され、テストされ、訓練されなければならない。この目的で、訓練の目標を明確にする方針と規範が必要である。これらの解釈は、有効性のチェックにつづく理論的及び実際の指導を含む広範囲な訓練コンセプトを必要とする。

訓練モデルの必要条件：訓練生に、より懇切な実地訓練を指導するために訓練グループをできるだけ小さくする必要があり、従って十分な数のすぐれた指導員が必要である。指導のための資料は、啓発的で、訓練生のこれまでの知識に沿ったものでなければならない。このようなコンセプトの重要な部分は多くの必要条件を満足すべき最適な訓練モデルである。訓練モデルは、心肺蘇生の実地訓練に適した正常成人の解剖学的及び生理学的特徴を有しなければならない。コースでの訓練生、指導員及び見学者に知識を与えるために、適切なモニター計器からの良好なフィードバックが得られることが重要であり、訓練モデルはこのための機能と構造を具備していなければならない。考えられるハード面(機能と構造)は以下のとおり。

技術モデルの要件

外観、機能、モニター、記録・分析システム、衛生要件

また、ソフト面(訓練プログラムなど)については、

心肺蘇生のための訓練プログラムの要件

理論的訓練

基本知識、教授法、教育のレベル、知識の構造

実際上の訓練

構造、訓練段階の原則、モニター機器を経たのフィードバック、分析システムによる能率のチェック

などが、考えられる。

ハードの面においては、現在まで、市販された心肺蘇生訓練モデルは完全に、要件を満足していなかったが、デンマークのAmbu社は最近、その前のモデルと他のメーカーのモデル両方とも相当違った心肺蘇生用の新しい訓練モデル「AMBU MAN」を開発した。これは通常の胴形状を有しているが、完全に内外の構造が新しい。最も重要な画期的な点は、性能が表示でき、エラー分析を含む訓練手順の詳細なプリントアウトを発生するモニターでの分析を可能にするコンピューターを接続する装備である。理論的及び実際の教授資料とその分析装置を使用して、訓練モデルは完全な訓練システムになる。理論的背景と新しいAHA推薦事項を示すパンフレットが利用でき、このパンフレットと共に、AMBU MANの訓練プログラムは完全と言える。

NOTFALLMEDIZIN 13(1987), 936-948

(翻訳者：遠藤一夫(株)松本医科器械
宣伝企画部)

心肺蘇生訓練人体模型

指導／教育に効果的

アンブマン

訓練の用途

気道確保、人工呼吸、頸動脈拍
の確認および心臓マッサージ

蘇生訓練モデル ●全身ボディ アンブマン MODEL IF

- キャリングバッグ
- エアーバッグ(100枚)
- フェースマスク(5個)
- モニター機構付

アンブマン1台で安全確実な心肺蘇生訓練が行えます。

主な特長は、

- 電気を使いませんので、屋外や体育館などいかなる場所でも使用できます。
- フェースマスクとエアーバッグが交換できます。これによって訓練者の相互感染が防止でき、非常に衛生的です。
- 胸部の硬さが調節できるため、より実際の心臓マッサージ訓練が行えます。
- 首の部分が上下左右に動かすことができ、より適切な気道確保あるいは嘔吐処置訓練が行えます。
- 訓練者は、モニターあるいは胸部や腹部の動きを見ながら練習が行えます。指導者は訓練者の習熟度に応じ、モニターを隠して感覚的な蘇生法を習得させることができます。



蘇生訓練モデル アンブマン MODEL I

- キャリングバッグ
- エアーバッグ(100枚)
- フェースマスク(5個)
- モニター機構付



Ambu 
デンマーク アンブ社



株式会社 松本医科器械

MATSUMOTO MEDICAL INSTRUMENTS, INC.
541 大阪市中央区淡路町2丁目4-7
TEL (06)203-7651 FAX (06)226-1713

日本総代理店

東京支店 TEL (03)3814-6683 FAX (03)3815-4341

札幌 (011)727-8981 仙台 (022)234-4511 横浜 (045)423-3911

名古屋 (052)264-1481 金沢 (0762)23-5221 広島 (082)223-4571

福岡 (092)474-1191